

第 50 回 神奈川県立霧が丘高等学校 入学式 祝辞

- 桜の花も、新たな門出を待っていたかのように咲き出しました。
- 本日この佳き日に、PTA 会長の富澤（とみざわ）様、学校運営協議会委員の若葉台連合自治会会長 菅尾（すがお）様、横浜市立義務教育学校霧が丘学園校長 根岸（ねぎし）様のご臨席を賜り、神奈川県立霧が丘高等学校第 50 回入学式をこのように挙行できますことを、職員一同、大変嬉しく思っております。

- ただいま入学を許可いたしました 324 名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。在校生、教職員を代表してみなさんの入学を心から歓迎いたします。
- また、保護者のみなさま方におかれましては、お子様のご入学に対し、心からお慶び申し上げます。

- さて新入生のみなさん、中学校までの義務教育が終了し、本日より霧が丘高等学校の生徒として新たな学校生活が始まります。
- 新型コロナウイルス感染症により様々な制限の中、なかなか思いどおりの中学校生活を送ることができずに、辛い思いをした時もあったかと思います。
- そうした中で、高校入試という、人生において最初となる、自らの意志により進路選択を行い、鋭意努力し、勝ち取った瞬間は、何をもってしても代えがたい喜びと嬉しさがあったのではないのでしょうか。
- 本来の喜びや嬉しさ、楽しさなどは、物事に真剣に向き合い、努力を積み重ねた結果、心の底から沸き起こるものであり、真剣さと努力に導き出されるものだと、私は思います。さらに、みなさんが目標を達成した要因には、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで何気なく過ごした毎日、当たり前と感じていた毎日が大切だと気づかされ、1 日、1 日を大切に過ごしたこともみなさんの大きな力になったことと思います。
- 新たな学校で、新たな一步を踏み出す本日は、「希望」と「期待」に満ち溢れていることと思います。新たな気持ちを持った本日の初心を忘れることなく、1 日、1 日を大切にし、惜しみない努力を積み重ね、充実した高校生活を送ってほしいと願っています。

- 霧が丘高校の学校目標は「心身ともにたくましく健康で、学力教養と豊かな個性、特性を身につけた有為な人材の育成」です。
- この学校目標を達成するために、「未来を切り拓く力の育成」「認め合い支え合う力の育成」そして「母校にプライドを感じる学校づくり」に取り組んでいます。

- 本日入学のみなさんは、第50期生です。本校は50年、半世紀を迎えることになりました。みなさんが、今、この場にいることができるのは、みなさんの努力があったことは間違えないことですが、そこには、中学校の先生方、保護者の方々の支援があったこと、さらには、この霧が丘高校を50年間にわたり支え、脈々と歴史を作ってきた諸先輩方や、指導にあたった先生などの先人の方々の努力があったことも忘れず、感謝の気持ちをもっていたきたいと思います。
- そして本校は、令和2年度からインクルーシブ教育実践推進校として、共生社会の実現を目指し、すべての生徒が共に学び相互理解を深める教育を推進しながら「インクルーシブな学校づくり」に取り組んでいます。
- インクルーシブな社会の実現は、今、社会で求められていることです。これからは、みなさん自らの成長のため、そして後輩たちのためにも、霧が丘高校をより成長させ、進化させながら歴史をつくりあげていてもらいたいと思います。
- 本日から、みなさんは霧が丘高校の一員です。霧が丘高校の生徒として、プライドを持ち、自らを律し、社会に求められる人材となるよう頑張ってもらいたいと切に願います。
- 我々教職員は、みなさんを全力で支えてまいります。何か不安なことがあれば、一人で悩まず、友だちはもちろん、先生にも気兼ねなく相談してください。
- 今後のみなさんの活躍に期待しています。本日は、誠におめでとうございます。

令和6年4月5日

校長 都丸 利幸